

登録コード	HM120900	開講年度	2026				
授業題目	形成再建外科学論文演習					担当教員	杠 俊介 他
英文授業名	Thesis Seminar in Plastic and Reconstructive Surgery					副担当	常川 主裕
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄					形成外科学に関する論文を作成するためのシステムティックレビューやプレゼンテーションができるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information							
(3)授業の概要 /Overview of course	医学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を習得する。また、形成再建外科学に関する学術論文を読み、その内容を第3者にプレゼンテーションする能力を身につける。						
(4)授業計画 /Course plan	(杠 俊介／7回) 抄読会形式で、医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約してわかりやすく紹介できる能力を修得させる。 (常川主裕／8回) 抄読会で発表する資料の作成を指導する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	プレゼンテーションの内容とその後の質疑応答に関して100点満点で評価する。90点以上秀、80－90点優、70－80点良、60－70点可、60点以下不可とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	レポート作成のためのパソコン環境をそろえ、その操作に習熟すること。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室に来ていただいても良い。メールでの質問も受け付ける。						
(8)授業の形式 /Course format	毎回講義終了後に復習を心がけること。研究事例の取りまとめや報告、議論にはパソコンを用いたプレゼンテーションが必要となるので、その環境を整えること。						